

趣 旨

昭和36年に第1回展が開催された日本伝統工芸富山支部展(第4回以降日本伝統工芸富山展)は5周年の5回展から県内出身者を対象とする公募制を取り入れ、今年で51回を数えます。

伝統工芸は単に古いものを模倣し、従来の技法を墨守することではありません。受け継いだ優れた技術を一層練磨すると共に、今日の生活に即した新しいものを築き上げることが、我々に課せられた責務であると信じます。

今回は、金工・漆芸・木竹工・陶芸・染織・人形・諸工芸の7部門の公募入選・受賞作品と重要無形文化財保持者(人間国宝)を含む全国著名作家の作品を合わせて約200点展示します。

列品解説 各々午後2時~3時

- | | |
|----------|-------------|
| 5月19日(土) | 金 工 (般若 保) |
| | 漆 芸 (宮下 芳洋) |
| 20日(日) | 木竹工 (早月 康夫) |
| | 陶 芸 (秦 豊秋) |
| 26日(土) | 染 織 (山下 郁子) |
| | 諸工芸 (長岡 達雄) |
| | 人 形 (河地 住美) |
| 27日(日) | 金 工 (畠 春斎) |
| | 漆 芸 (吉川 則行) |
| 6月2日(土) | 木竹工 (米道 正幸) |
| | 陶 芸 (金田比陶美) |
| 3日(日) | 染 織 (大澤 浩美) |
| | 諸工芸 (佐野 猛) |
| | 人 形 (平岡 彰子) |

会期中同時開催

富山支部会員小品展 地階ミュージアムショップ

審査員

- | | |
|-------|-------------------------------------|
| 森口 邦彦 | 重要無形文化財保持者〔染織〕
公益社団法人 日本工芸会 副理事長 |
| 中川 衛 | 重要無形文化財保持者〔金工〕
公益社団法人 日本工芸会 常任理事 |
| 中野 孝一 | 重要無形文化財保持者〔漆芸〕
公益社団法人 日本工芸会 参与 |
| 中田 一於 | 陶芸作家
公益社団法人 日本工芸会 理事 |
| 名倉 鳳山 | 諸工芸作家〔硯〕
公益社団法人 日本工芸会 正会員 |
| 白石 和己 | 山梨県立美術館 館長 |
| 村上 隆 | 高岡市美術館 館長
順不同 敬称略 |

開会式

5月18日(金) 午前10時~
エントランスホール

出品者研究会

5月20日(日) 午後3時~
展覧会場にて

第50回日本伝統工芸富山展 列品解説風景



一 般 公 募 の 案 内

出品申込 4月24日(火)~26日(木)

伝統工芸の特性を生かし、現代生活に直結する作品で、工芸として格調が高く、美術作品として芸術性を保持し未発表の作品。

<宛 先>

〒933-0813 富山県高岡市下伏間江148 大澤光民方 日本工芸会富山支部
<お問い合わせ、応募要項請求先>
第51回日本伝統工芸富山展事務局
〒933-0056 富山県高岡市中川1丁目1番30号
高岡市美術館内 0766(20)1177